

TEKNA

MJM 東京

2024 SUMMER

こどもたち

私の掟を受け入れ、それを守る人は、私を愛する者である。わたしを愛する人は、わたしの父に愛される。わたしもその人を愛して、その人にわたし自身を現す。

ヨハネによる福音書 14 : 21

ソフィア 阿部園子



5月26日タリータウンのクライストチャーチで、我々が教会生活を始める決定打になったこのハガキに出会うことができました。以前 TEKNA でも書いたと思いますが、1983年7月にタリータウンに住み始めた私はとりあえず、ナーサリーを探していました。教会にもプレーグループやナーサリーがあるというので、拙い英語で電話をかけていたら、秘書の方が「うちの牧師は日本に宣教師として長年いたことがある。」という事を聞いておりました。無事、週に2日、クライストチャーチのナーサリーに上の娘が通う事になって、そこで知り合った日本人の方に日本人のプレーグループを紹介して頂いたりして、何とか幼い二人の子どもとの駐在員家族の生活が始まりました。

多分 Fr.Eddy からお電話で礼拝のお誘いを頂いたと思いますが、夫はクリスチャンファミリーに育ちながら、日曜日に礼拝には行っていなかったので、躊躇しておりました。そんな時にこのハガキを Fr. Eddy から受け取りました。受け取ったハガキはなくしてしまったのですが、クライストチャーチのコレクションの中であって、写真でとって来ました。ハガキの下の部分に教会でお待ちしています。というようなメッセージがあったと思います。(その後 Fr.Eddy からはことあるごとに、たくさんのオリジナルの素敵なハガキを頂きました。)



すぐに、以前クライストチャーチで副牧師をされていて、当時はニュージャージーにお住まいだった秋吉司祭とお会いして、翌年に洗礼、堅信という事になったので、今年が40年になります。クライストチャーチで、オルターギルトのご奉仕をさせて頂いていた時の先輩の方が未だいらして、「私はクライストチャーチに60年いるからね。」と覚えて下さっていて、再会を喜びました。

当時秋吉司祭は NY MJM の下地になるような日本語で聖書を読む会のようなものをされていて、司祭が西海岸に移動になるまで、マウントキスコの植松のぞみさん宅で行われた聖書の会に参加したり、我が家でも1~2

回聖書の会を行ったような気がいたします。 NY MJM のミッショナリーとして Fr.Lloyd が携わってくださるようになって、クライストチャーチに通いながら、毎週のように NY MJM の例会に出席致しました。

今回の NY 出発の前に与えられた上の聖書箇所は、「聖霊を与える約束」という見出しがついております。私自身「聖霊」は良く分からないもので、今一つ理解できなかったような気がいたします。今回は下町 ZOOM の聖書の会とその後のナザレでの黙想会でも同じ箇所が与えられました。そこで、心に留まったのは聖霊を与えられる「その人」です。聖霊が鳩の様に自分に降りてくるとはなくとも、「その人」に出会い「その人」の話を聞く事、それが、神さまが私に与えられた聖霊なのではないかと。NY で教会生活を始めて以来、「その人」を通して聖霊を感じ、神さまの愛を実感する、とりつかれたように「その人」を追っかけていたではないかと思いました。



NY 到着後、17 日にシン主教様の着任 10 年のお祝いの礼拝に出席することができました。遠山京子さんにアレンジして頂き、大聖堂での礼拝前に金司祭とお会いすることができました。金司祭とは、ZOOM でお目にかかったことがあったので、初めてのような気がしませんでした。遠山京子さんの案内で、礼拝の始まる前にヨハネ大聖堂を見させて頂きました。

シン主教様には初めてお目にかかりましたが、お祝いで多くの司祭様が駆けつけられて、お祝いの言葉を述べられているのを聞いて、細かい英語を理解できませんでしたが、感動しました。多くの司祭様の尊敬を集め、そして主教様の重責を 10 年務められたという事は本当に素晴らしい事です。シン主教様も金司祭も「その人」なのだと、この礼拝に参加できることを、夫と共に喜び、神さまの大きなお恵みの中にいることを実感して感動しました。



NY の前半 5 日間くらいはカナダに住む娘の朋子夫婦が合流してくれました。彼女は英国立教学院に 6 年在学し、聖路加国際病院でも 6 年勤務していたので、この感動を共有できると思い、夫と話をしましたが、反応は意外な物でした。彼女はカナダで、看護師をやっていて、原住民の子ども達にキリスト教の教会が行っていた、強制教育の傷跡を現在も引きずっている患者さんに接する機会があり、そういう人達に、クリスチャンとしてどう接すれば良いかわからない。という話を聞きました。

我々の様に、神さまのお恵みを素直に感じ取れないようでした。それだけ彼女の周りに今も存在するキリスト教宣教が引き起こした闇が深いのでしょう。夫も私も何も言えなくなっていました。しかし、彼女が NY の補習校で一緒だった春子ちゃんというお友達が、その後英国立教学院でも一緒になり、彼女は何と我々が



NYで住んでいたタリータウンの近所にあったメアリーマウントカレッジに通い、今は結婚してライに住んでいて、今回も数時間再会を楽しむことができたようです。



春子ちゃんは別に教会に通っているわけではありませんし、クリスチャンかどうか分かりませんが、NYからの不思議な繋がり、偶然という言葉が我々は使いますが、このことも、神さまのお導き、聖霊の働きなのではないかと私は思います。そして、娘がいつかこういう身の回りの小さな一つ一つのことに神様のお恵みを感じることができ、暗闇に光を見つけてくれることを願っています。これからも、一步一步皆様との関わりに感謝しながら、神さまから与えられた道を歩んで行きたいと思います。

NY MJM から金司祭の以下のメッセージのメールを頂いております。MJM 東京の皆様と是非共有したいと思い、金司祭に許可を頂き掲載させて頂きました。

MJM ミッションナー

金基理 司祭

MJM の会員の皆様、そして MJM のご友人の皆様

先週（6月22日から28日まで）、私は EAM（アメリカ聖公会のアジア宣教局）のサポートとして、また MJM の理事長である遠山京子さんはニューヨーク教区の代理代表として、ケンタッキー州ルイビルで開催された米国聖公会総会に出席しました。

総会は、アメリカ聖公会の全主教、聖職者、信徒の代表が3年に1度集う会議です。ほぼ1週間をかけて議論、会議、投票、礼拝を行います。

第81回総会のビジネスセッションでは、代表者たちが次のような立法声明を出しました。中東危機へのサポートの表明文を作成すること、アメリカの先住民族のひとつナバホ族の土地に新しい宣教教区を創設すること、ウィスコンシン州の三つの既存の教区を一つに統一すること、またミシガン州の二つの教区を一つに統合すること（新しい名前は、ミシガン教区でなく、五大湖教区と変更されます）。そして待望されていたナバホランドの聖公会の宣教区への地位変更に至るまで、300件を超える法案について検討されました。また、以前はミクロネシアの聖公会を構成していたグアムとサイパンを含むハワイの聖公会教区の拡大も承認されました。

そして総会で一番注目された決議は、9年間の任期が始まる第28代目の首座主教、ショーン ロウ師（現在は北西ペンシルベニアと西ニューヨークの主教）を選出したことでしょう。

ロウ主教は2000年に24歳でアメリカ聖公会で一番若い司祭として按手され、そのあと32歳で、最年少の主教として按手されました。そしてこの総会で、彼はアメリカ聖公会史上最年少の首座主教に選出されました。

教会における組織学習と適応的パフォーマンスに関する研究と活動で知られるロウ主教は、主教会の中で、また

聖公会執行委員会で議員を務めています。また、グレーター バッファロー人種平等円卓会議にも参加しています。2018年には、教会の現状に関するアメリカ政府の下院委員会に初めて参加した主教となりました。

総会での議論と決定を目の当たりにすることは、確かに印象的で、深く考えさせられる経験でした。第81回総会の多くの議題の中で、アメリカ聖公会がこれまでの慣習を考え直し、未来の宣教に向かう準備ができていることを示す決定を参加者に知らせました。

日本聖公会も数年前に現在の11教区を5つ統合することを決定し、準備は徐々に進んでいます。今年6月初旬に開催された日本聖公会総会で、沖縄教区の上原主教が日本聖公会の新しい首座主教に選出されました。日本聖公会とアメリカ聖公会の両教会の今後の進化への、皆さんのお祈りをお願いいたします。

【報告・お知らせ】

久しぶりの再会



遠山京子さんが一時帰国をされていました。都留さんの外出が難しいという事で、7月27日に急遽都留さんのお宅を開放して頂き、6名が都留さんのお宅に押しかけ楽しい時を過ごしました。都留さんの93歳のお誕生日をお祝い致しました。



遠山京子さんからのお知らせ

8月6日に私の友人で、被爆者の支援をニューヨークに来てから（40年前ですが）被爆者のサポートをし始めた竹内道さんのおじいさまのドキュメンタリーがNHKで放映されます。是非ご覧になってください。道さんも祖父母、父母ほか被爆をした被爆二世なのですが、たくさんの二世、三世の方のように家族が被爆をしていることを公言せず、家族もあまり話してくれなかったそうです。

でも、それから何十年後に彼女自身もソロー節子さんのドキュメンタリー映画を作ったり今は家族のことを軸に平和運動をしています。そして広島に原爆が落ちたとき、赤十字病院の院長をなさっていたおじいさまの日記が出てきて、とっても熱心なクリスチャンでいらしたのですが、それがよくわかる聖書の箇所も皆さんにも見ていただきたいのですが、是非たくさんの方々に宣伝して下さると嬉しいです。

[ヒロシマ・ナガサキ 戦争特集番組 2024年夏](#)

NHK スペシャル

「原爆 いのちの塔」8月6日(火) 午後10:00～10:54 ※放送時間は変更になる場合があります

「NHK プラス」による同時配信・見逃し配信あり原爆 いのちの塔

原爆投下により壊滅的な被害を受けた広島。その中で、被爆直後から医療活動の続け、負傷者が殺到したのが広島赤十字病院だ。NHKは、「いのちの塔」とも呼ばれた病院で、医療活動の指揮をとり続けた院長・竹内鉦が残した手帳を入手した。番組では、竹内資料などをもとに、被爆直後の医療現場の最前線を追体験していく。人類が初めて直面した核兵器の脅威、それに対峙した医療従事者たちの視点から、被爆の実相に迫る。

ZOOMによる下町聖書の会（主日福音書・キャンドル会）

8月16日（金）19：00～ 上田亜樹子司祭

いつも高津さんがシートを送って下さいます。参加希望の方はご連絡下されば情報をお送り致します。

NY MJMでは夏のキャンプが8月23-25日に行われます。キャンプ場はStony Point CenterのGilmore House（17 Cricketown Rd、Stony Point、NY 10980）です。Stony Point CenterのウェブページでGilmore Houseの写真をご覧頂けます。<https://stonypointcenter.org/accomodations/gilmor-sloane-house>

日本からも参加予定の方がいらっしゃいます。ZOOMで繋がれば楽しいですね。

東京教区 信仰と生活委員会 教育プロジェクト

【テゼの歌・アイコン・沈黙】

8月24日（土）16時30分～17時30分

目白聖公会 ファシリテーター：植松功

NY MJM「おやつ」

8月は毎週金曜の朝6時（夏時間）から行われているNY MJM「おやつ」はお休みです。

9月6日（金）朝6時からです。

